報道関係者
2026年10月29日
東京・春・音楽祭実行委員会

国内最大級のクラシック音楽の祭典

「東京・春・音楽祭2027」概要発表

開催期間：2027年3月19日［金］～4月17日［土］

春が訪れ 桜がひらいて 音楽が始まる 上野の森に

東京・春・音楽祭実行委員会（実行委員長：鈴木幸一）は、桜咲く春の上野を舞台にした国内最大級のクラシック音楽の祭典 「東京・春・音楽祭2027」 を、2027年３月19日［金］から４月17日［土］まで、30日間に亘り開催いたします。

2027年は、東京文化会館が休館となる中で迎える新たな形での音楽祭となります。ベートーヴェンの没後200年という節目とともに、上野公園の各美術館・博物館等はもちろん、新たに都内近郊５つのコンサートホールを会場に追加。開催エリアを拡大し、国内外一流アーティストによるオペラ、オーケストラ、室内楽、リサイタルなど、幅広いコンサートを多様な空間でお届けし、東京の春の訪れを彩ります。

「東京・春・音楽祭」は2005年に「東京のオペラの森」として始まり、2009年に現名称に改称、2027年は23回目の開催となります。東京春祭の“顔”である「**ワーグナー・シリーズ**」には**ローター・ケーニヒス**を指揮に迎え、**NHK交響楽団**とともに、15年ぶりに**《タンホイザー》**を演奏します。**ベートーヴェンのアニバーサリー・イヤー**を大きく飾るのは、**ダーヴィト・アフカム**指揮、**読売日本交響楽団**による**《フィデリオ》**。「**合唱の芸術シリーズ**」では、**メンデルスゾーン《エリヤ》**を**コンスタンティン・トリンクス**指揮／**東京都交響楽団**／**東京オペラシンガーズ**でお届けします。

東京春祭で名演を重ねてきた現代最高のピアニスト **ルドルフ・ブッフビンダー**は計４公演で演奏。その生涯を通じてベートーヴェンに向き合ってきたブッフビンダー自身が共演相手にと指名した二人の日本人奏者と、トリオ、デュオ、そしてソロ演奏でベートーヴェンの真髄に迫ります。

現代最高峰とされるアルカント四重奏団の第１ヴァイオリンを務め、ソリストとしても非常に高い評価を受けている**アンティエ・ヴァイトハース**による２公演や、**ベルリン・フィルハーモニー**のメンバーによる趣向溢れる公演、いま注目のクラシック・ギタリスト **ラファエル・フイヤートル**が出演するほか、ヴァイオリニストの**金川真弓**は３年にわたるシリーズ公演を始動します。

毎春、いま聴くべき注目の歌い手を迎えてお届けしている**歌曲シリーズ**も複数を予定。アニバーサリー・イヤーを迎えるベートーヴェンの作品を室内楽でお楽しみいただける**【東京春祭のBeethoven】**では、様々なアプローチでその軌跡をたどります。

歴史あふれる**旧東京音楽学校奏楽堂**での公演のほか、**上野公園内の美術館・博物館で開催する人気のミュージアム・コンサート**も多数開催。国内外の一流アーティストによる室内楽やリサイタル、ドイツ・バイロイト音楽祭提携による「**子どものためのワーグナー**」、上野の街を舞台に小さな音楽会を展開する「**桜の街の音楽会**」も例年通り開催いたします。



拠点を広げ、新たな舞台に向かう大切な年となる音楽祭に、ぜひご期待ください。

上野の春の風物詩、東京･春･音楽祭 コンセプト

「東京･春･音楽祭」は、桜咲く上野を舞台に東京の春の訪れを音楽で祝う、国内最大級のクラシック音楽の祭典です。長い冬が終わり、桜前線の知らせが聞こえ始める３月中旬に始まり、街が桜色に染まり、花吹雪から新緑を感じるまでの間、街が華やかに変化するときの躍る心をクラシック音楽で祝いたいと2005年に始まりました。

2027年は会場を新たに増やし、オペラやオーケストラ、国内外一流アーティストによる室内楽をはじめとする演奏会から、街角で気軽に楽しめる音楽との出会いの場まで、様々な音色で東京の春の訪れを彩ります。

東京・上野

江戸時代より花見の名所として名高い上野は、明治以来、営々と築かれ続けてきた芸術・文化の一大拠点です。西洋文化を受け入れながらも江戸を受け継ぎ、そして醸成する基盤となった東京・上野。
私たちは、この街から新たな文化を、祝祭の空間を、各地で催される地域に根付く祭りのように、東京に関わる人たちと共に「発信」していきたいと考えます。劇場をはじめ美術館や博物館、動物園や公園など、あらゆる場所で音楽・芸術をつくり続けます。



春

厳しい寒さをしのいできた冬芽が春の暖かな息吹を感じ始めると、しだいにほころび、日本列島が南から北へと順々に、桜の花で彩られていきます。日本中の誰もが、今か今かと待ち焦がれる桜の開花を、春の訪れを、私たちはひと月に亘る音楽の祭りで皆様と共に祝います。



祭り

東京には、神田祭や三社祭をはじめ、江戸期から連綿と続くたくさんの祭りがあり、そこに住む人々に支えられながら、訪れる皆に開放感と喜びを与え続けています。私たちは、桜と音楽で春を祝う東京の新たな「祭り」の空間をつくります。
桜と音楽のもと聴衆と国内外の一流のアーティストが集い、言葉や国境を越えて共につくりあげる、心の感動を得られる場を、様々な形でお届けします。オペラから街角の無料コンサートまで、束の間ではあっても長く記憶に残るようなクオリティの高い公演を、あらゆる世代に提供していきます。





＜東京・春・音楽祭に関する報道関係の方のお問い合わせ先＞
東京・春・音楽祭実行委員会 広報担当（関）
TEL (03)5205-6401　FAX (03)5205-6403　E-mail press@tokyo-harusai.com

「東京･春･音楽祭2027」開催概要

期間：2027年３月19日[金]～４月17日[土]
会場：上野恩賜公園一帯、旧東京音楽学校奏楽堂、東京国立博物館、国立科学博物館、
東京都美術館、上野の森美術館、国立西洋美術館、
東京芸術劇場、ミューザ川崎シンフォニーホール、
日本製鉄紀尾井ホール、浜離宮朝日ホール、
TOPPANホール、三井住友銀行 東館　／他

主催：東京・春・音楽祭実行委員会

共催：一般財団法人東京・春・音楽祭

後援：文化庁／東京都／台東区（予定）

協力：一般社団法人 上野観光連盟／上野の山文化ゾーン連絡協議会（予定）

助成：公益社団法人企業メセナ協議会　社会創造アーツファンド

URL： https://www.tokyo-harusai.com

■これまでの延べ公演数　2,184公演

■これまでの延べ入場者数　616,513名

■これまでの延べ演奏者数　19,376名（2026年：492名）

■2026年公演数　130公演（有料公演：71、無料公演：59）

■2026年入場者数　33,243名（有料公演：25,545名、無料公演：7,679名）

■2026年配信視聴者数　11,243名（有料配信のみ）










「東京・春・音楽祭2027」８つのポイント

① **ベートーヴェン アニバーサリー・イヤー**を飾る**オペラ公演**と**室内楽**の数々
② ２０２７年の開幕はこちら！
ベートーヴェンの大家 **ブッフビンダーによる聴き逃せない４公演**
③ **新たな会場**も加わり**東京春祭ならではのプログラム**を堪能
④ オペラ、オーケストラ、室内楽など、
国内外一流アーティストが奏でるクラシック音楽
⑤ **上野公園**の美術館・博物館を舞台にした「**ミュージアム・コンサート**」
⑥ 子どもたちがクラシック音楽と出会う場！ 「**東京春祭 for Kids**」
⑦ 舞台は上野＆東京の街中！ 「**桜の街の音楽会**」など**無料イベント多数開催**
⑧ 高音質・高画質・自由視点映像での**ライブ・ストリーミング配信**を実施

1 ベートーヴェン アニバーサリー・イヤーを飾る オペラ公演と室内楽の数々

2027年は没後200年となるルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンのアニバーサリー・イヤー。世界中のクラシック音楽界がベートーヴェン作品を取り上げる１年になります。そんな記念すべき年に東京・春・音楽祭が取り上げるベートーヴェンの大作は、彼が唯一遺したオペラ《**フィデリオ**》。2019年の音楽祭で《さまよえるオランダ人》を指揮し、最近の活躍が目覚ましい**ダーヴィト・アフカム**を迎え、**読売日本交響楽団**とお届けします。

歌曲シリーズにも出演する**マクシミリアン・シュミット**のほか、**ミヒャエル・クプファー＝ラデツキー**、**ディミトリ・ベロセルスキー**らをむかえての記念公演、ご期待ください。

また、室内楽でも珠玉のベートーヴェン・プログラムがズラリ。ベートーヴェンの大家 ルドルフ・ブッフビンダーによる４公演はもちろんのこと（下記参照）、【東京春祭のBeethoven】と題した複数のプログラムが展開。ベートーヴェンの命日にお届けする室内楽公演のほか、**アンティエ・ヴァイトハース**、**郷古廉・村上淳一郎・辻本玲**による弦楽三重奏全曲演奏会、古楽器による演奏会など、様々な角度から大作曲家の作品を核にした公演を予定。音楽祭の最終日を飾る公演も、もちろんベートーヴェンのプログラムとなります。

2 ２０２７年の開幕はこちら！ ベートーヴェンの大家 ブッフビンダーによる 聴き逃せない４公演

2024年から４年連続での出演となる、現代最高のピアニスト **ルドルフ・ブッフビンダー**。これまで、ベートーヴェン ピアノ・ソナタ全曲演奏会とピアノ協奏曲 全曲演奏会（弾き振り）を通じ、その度に円熟味あふれる演奏で観客を魅了してきたブッフビンダーですが、まさに2027年は彼の年。生涯をかけて向き合ってきたベートーヴェンのアニバーサリー・イヤーに、ブッフビンダー自身が共演相手にと指名した**島田真千子**、**辻本玲**とトリオ＆デュオ演奏、そしてリサイタルを行います。いつ聴いても瑞々しく、自由な解釈で常に新しいベートーヴェン像を聴かせてきたブッフビンダーが紡ぐ音色。果たして来春はどのように響くのか、お楽しみに。



3 新たな会場も加わり 東京春祭ならではのプログラムを堪能

2027年は、東京文化会館が休館となる中で迎える新たな形での音楽祭となります。上野公園内の**旧東京音楽学校奏楽堂**や**各美術館・博物館**はもちろん、**東京芸術劇場コンサートホール**、**ミューザ川崎シンフォニーホール**、**日本製鉄紀尾井ホール**、**浜離宮朝日ホール 音楽ホール**、**TOPPANホール**という５つの会場を新たに追加。上野近辺からより広い地域へと開催エリアを拡大し、東京の春の訪れを彩ります。

東京春祭ならではのこだわりぬいたプログラムを、新たな会場、そして新たなお客様へお届けします。



東京春祭の“顔”となった「**ワーグナー・シリーズ**」は、ワーグナー等ドイツ作品で定評のある**ローター・ケーニヒス**を迎え、**NHK交響楽団**、世界の第一線で活躍する歌手陣とともに《**タンホイザー**》を演奏。東京春祭での演奏は2012年以来、15年ぶりとなります。昨今の活躍が目覚ましい新世代のヘルデン・テノールとして注目の**サミュエル・サッカー**、バイロイト音楽祭等に出演の**エリーザベト・タイゲ**といった、世界の檜舞台で活躍する歌手たちにもご注目ください。

「**合唱の芸術シリーズ**」では、**メンデルスゾーン《エリヤ》**を**コンスタンティン・トリンクス**指揮／**東京都交響楽団**／**東京オペラシンガーズ**でお届けします。

4 オペラ、オーケストラ、室内楽など 国内外一流アーティストが奏でるクラシック音楽

最旬の音楽を紹介する公演の数々に、東京春祭でしか聴くことのできないプログラムが来春も目白押し。

ドイツが誇る名ヴァイオリニストであり、ここ最近さらに注目度が増している**アンティエ・ヴァイトハース**は、ベートーヴェンとブラームスの２公演を予定。**ベルリン・フィルハーモニー交響楽団のメンバー**は、リサイタルのほか、**トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア**との共演も。

リッカルド・ムーティからの信頼も厚い、Ｎ響コンサート・マスターの**長原幸太**はブランデンブルク協奏曲 全曲演奏会をお届けします。同じくＮ響メンバーが2021年から続けてきた「**Ｎ響メンバーによる室内楽**」でのショスタコーヴィチ全曲演奏は、TOPPANホールでその最後を締めくくります。クラシック・ファンから熱い視線を浴びている**クインテット樹**が東京春祭に登場するほか、飛ぶ鳥を落とす勢いで活躍中の**金川真弓**は、３年にわたるシリーズ公演をスタート。初回のパートナーにはギタリストの**山下愛陽**を迎えます。毎春、着実にファン層を増やしている**歌曲シリーズ**も複数を予定。いま聴いておくべき歌い手とピアニストによる親密な空間をお楽しみいただけます。

2027年からは【お昼のハルサイ】と題してマチネ公演も複数開催。平日の日中、忙しい喧騒から離れ、贅沢な時間を味わってください。



5 上野公園の美術館・博物館を舞台にした「ミュージアム・コンサート」

上野公園内に点在する、日本を代表する美術館・博物館の展示室内や講堂で開催される人気のミュージアム・コンサート。2006年からスタートしたこの企画は、美術館や博物館が持つ荘厳な空間で、国内外のアーティストたちが、各特別展や会場の特徴に合わせたコンサートを開催いたします。

人気展覧会とのコラボレーション企画は、その時代を生きた芸術家たちの息吹に触れることができる貴重な機会です。展示室内での公演や、重要文化財である建物内での公演など、文化の集積地上野ならではの特別な空間での鑑賞もお楽しみください。

6 子どもたちがクラシック音楽と出会う場！「東京春祭 for Kids」

未就学のお子様から高校生まで、幅広い年代を対象とした様々なプログラムを提供し、毎年好評の「東京春祭 for Kids」。バイロイト音楽祭提携の「**子どものためのワーグナー**」では《**タンホイザー**》を親しみやすくアレンジしてお届け。セリフのみならず、**歌唱部分も日本語**で展開します。同音楽祭の総監督**カタリーナ・ワーグナー**が監修をつとめます。

また、毎年人気の**子どものための絵本と音楽の会**や**公開リハーサル**など、様々な年齢のお子様を対象にクラシック音楽の魅力をお伝えします。（2027年１月詳細発表予定）



7 舞台は上野＆東京の街中！「桜の街の音楽会」など無料イベント多数開催



上野周辺のみならず、オフィス街など都内の様々な場所を舞台に無料のミニ・コンサートを展開している「桜の街の音楽会」。2026年は合計29か所で54公演を行い、多くのお客様に音楽をお届けしました。次春も３月初旬ごろから４月中旬にかけて開催予定。気軽に音楽に触れあえる最高の場を創出します。お出かけの際は、音楽祭公式サイトで開催スケジュールのチェックをお忘れなく！

（2027年２月詳細発表予定）

8 高音質・高画質・自由視点映像でのライブ・ストリーミング配信（有料）を実施

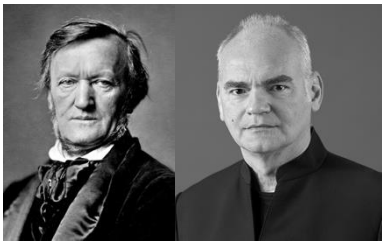
会場にご来場いただけない方にも、東京春祭の公演をお楽しみいただけるように始めた「東京・春・音楽祭LIVE Streaming」。これまでに引き続き、**高音質・高画質・自由視点映像**で実施いたします。ライブ配信ならではの臨場感を、皆さまそれぞれのスタイルでお楽しみください。

新たに追加となる５会場からのライブ・ストリーミング配信も予定しております。

（2027年２月詳細発表予定/権利関係の都合により配信されない公演もございます。）

ワーグナー・シリーズは《タンホイザー》　オーケストラ公演は合計３プログラム

- 東京春祭の“顔”である「ワーグナー・シリーズ」でタクトを振るのは、ミュンヘン等の主要歌劇場で活躍し、ドイツ作品で定評のあるローター・ケーニヒス。東京春祭では、2024年のブルックナー《ミサ曲第３番》での指揮でも記憶に新しい。いま最も注目のヘルデン・テノール サミュエル・サッカー、バイロイト音楽祭等に出演歴を重ねるエリーザベト・タイゲ、リッカルド・ムーティからの期待も厚いレオン・コーシャヴィッチら世界の檜舞台で活躍する歌手陣とともに、NHK交響楽団の演奏でお届けする。



東京春祭ワーグナー・シリーズ vol.18
《タンホイザー》演奏会形式
4/4 [日]　東京芸術劇場 コンサートホール

指揮 ローター・ケーニヒス
タンホイザー サミュエル・サッカー
ヴォルフラム レオン・コーシャヴィッチ
ヴァルター 大槻孝志
ビーテロルフ 水島正樹
ハインリヒ 高橋 淳
ラインマール 山下浩司
エリーザベト／ヴェーヌス エリーザベト・タイゲ　／他
管弦楽 NHK交響楽団
合唱 東京オペラシンガーズ

- 没後200年となるベートーヴェンのアニバーサリー・イヤーを記念し、彼が唯一遺したオペラ《フィデリオ》を演奏。 スペイン国立管弦楽団のチーフ・コンダクター兼芸術監督として活躍するほか、ドレスデン国立歌劇場などでのオペラ公演でも実力を発揮しているダーヴィト・アフカムを指揮に迎え、読売日本交響楽団、マクシミリアン・シュミット、ミヒャエル・クプファー＝ラデツキー、ディミトリ・ベロセルスキーとその偉業を称える。



東京春祭のBeethoven
ベートーヴェン《フィデリオ》演奏会形式
4/8[木], 4/11[日]　東京芸術劇場 コンサートホール

指揮 ダーヴィト・アフカム
ドン・ピツァロ ミヒャエル・クプファー＝ラデツキー
フロレスタン マクシミリアン・シュミット
ロッコ ディミトリ・ベロセルスキー
ヤキーノ マウロ・ペーター　／他
管弦楽 読売日本交響楽団
合唱 新国立劇場合唱団

- 15回目となる「合唱の芸術シリーズ」では、メンデルスゾーンの代表作のひとつ《エリヤ》をお届け。**コンスタンティン・トリンクス**が東京都交響楽団、東京オペラシンガーズと演奏する。



東京春祭 合唱の芸術シリーズ vol.15
メンデルスゾーン《エリヤ》
4/16[金]　ミューザ川崎シンフォニーホール

指揮 コンスタンティン・トリンクス
出演者 調整中
管弦楽 東京都交響楽団
合唱 東京オペラシンガーズ

ベートーヴェンの室内楽を様々な趣向でお楽しみいただける紀尾井ホール公演



3/19[金]　日本製鉄紀尾井ホール
東京春祭のBeethoven
ルドルフ・ブッフビンダー（ピアノ）ベートーヴェンの世界Ⅰ　ピアノ三重奏
島田真千子（ヴァイオリン）、辻本 玲（チェロ）を迎えて

ピアノ ルドルフ・ブッフビンダー
ヴァイオリン 島田真千子
チェロ 辻本 玲

ベートーヴェン：ピアノ三重奏曲 第3番 ハ短調 op.1-3
ピアノ三重奏曲 第4番 変ロ長調 op.11 《街の歌》
ピアノ三重奏曲 第7番 変ロ長調 op.97 《大公》



3/20[土]　日本製鉄紀尾井ホール
東京春祭のBeethoven
ルドルフ・ブッフビンダー（ピアノ）ベートーヴェンの世界Ⅱ ヴァイオリン・ソナタ
島田真千子（ヴァイオリン）を迎えて

ピアノ ルドルフ・ブッフビンダー
ヴァイオリン 島田真千子

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第5番 ヘ長調 op.24《春》
ヴァイオリン・ソナタ 第7番 ハ短調 op.30-2
ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調 op.47《クロイツェル》



3/21[日・祝]　日本製鉄紀尾井ホール
東京春祭のBeethoven
ルドルフ・ブッフビンダー（ピアノ）ベートーヴェンの世界 Ⅲ
ソロ・リサイタル

ピアノ ルドルフ・ブッフビンダー

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第8番 ハ短調 op.13《悲愴》
ディアベッリのワルツの主題による33の変奏曲 ハ長調 op.120



3/22[月・休]　日本製鉄紀尾井ホール
東京春祭のBeethoven
ルドルフ・ブッフビンダー（ピアノ）ベートーヴェンの世界 Ⅳ チェロ・ソナタ
辻本 玲（チェロ）を迎えて

ピアノ ルドルフ・ブッフビンダー
チェロ 辻本 玲

ベートーヴェン：チェロ・ソナタ 第1番 ヘ長調 op.5-1
チェロ・ソナタ 第2番 ト短調 op.5-2
チェロ・ソナタ 第3番 イ長調 op.69



3/23[火]　日本製鉄紀尾井ホール
お昼のハルサイ
ピアノで《第九》

ピアノ 萩原麻未 ／他

ベートーヴェン（リスト編）：交響曲 第9番 ニ短調 op.125



3/26[金]　日本製鉄紀尾井ホール
東京春祭のBeethoven
三重協奏曲＆交響曲 第6番《田園》（室内楽版）

ピアノ 三浦謙司　／他

ベートーヴェン（ライネッケ編）：
　　ピアノ、ヴァイオリン、チェロのための三重協奏曲 ハ長調 op.56
ベートーヴェン（フンメル編）：交響曲 第6番 ヘ長調 op.68《田園》　／他



3/27[土]　日本製鉄紀尾井ホール
東京春祭のBeethoven
ヴァイオリン協奏曲＆交響曲 第7番（室内楽版）

ベートーヴェン（C.ハインド編）：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.61
ベートーヴェン（C.F.エバース編）：交響曲 第7番 イ長調 op.92



3/28[日]　日本製鉄紀尾井ホール
東京春祭のBeethoven
アンティエ・ヴァイトハース（ヴァイオリン）＆マルティン・ヘルムヒェン（ピアノ）I

ヴァイオリン アンティエ・ヴァイトハース
ピアノ マルティン・ヘルムヒェン

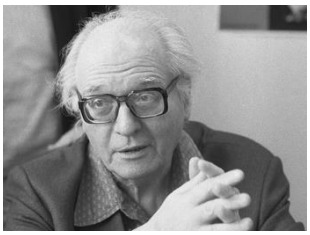
ベートーヴェン：
　ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ニ長調 op.12-1
　ヴァイオリン・ソナタ 第4番 イ短調 op.23
　ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 op.12-2
　ヴァイオリン・ソナタ 第10番 ト長調 op.96



3/29[月]　日本製鉄紀尾井ホール
アンティエ・ヴァイトハース（ヴァイオリン）＆マルティン・ヘルムヒェン（ピアノ）II

ヴァイオリン アンティエ・ヴァイトハース
ピアノ マルティン・ヘルムヒェン

ブラームス：
　ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ト長調 op.78《雨の歌》
　ヴァイオリン・ソナタ《F.A.E.》より スケルツォ
　ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 op.100
　ヴァイオリン・ソナタ 第3番 ニ短調 op.108



3/30[火]　日本製鉄紀尾井ホール
世の終わりのための四重奏曲

メシアン：世の終わりのための四重奏曲　／他

クラリネット コハーン　／他



3/31[水]　日本製鉄紀尾井ホール
堀米ゆず子（ヴァイオリン）と仲間たち

ヴァイオリン 堀米ゆず子
チェロ 水野優也
ホルン 日橋辰朗
ピアノ 三浦謙司　／他

ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第3番 ニ短調 op.108
　　ホルン三重奏曲 変ホ長調 op.40
シューマン：ピアノ四重奏曲 変ホ長調 op.47



4/1[木]　日本製鉄紀尾井ホール
東京春祭のBeethoven
鈴木秀美（チェロ）と仲間たち

ヴァイオリン 若松夏美
チェロ 鈴木秀美
フォルテピアノ 小倉貴久子

ベートーヴェン：
　チェロ・ソナタ 第4番 ハ長調 op.102-1
　チェロ・ソナタ 第5番 ニ長調 op.102-2
　ピアノ三重奏曲 第5番 ニ長調 op.70-1 《幽霊》



4/2[金]　浜離宮朝日ホール 音楽ホール
東京春祭のBeethoven
郷古 廉（ヴァイオリン）、村上淳一郎（ヴィオラ）、辻本 玲（チェロ）Ⅰ
弦楽三重奏曲 全曲演奏会

ピアノ 郷古 廉
ヴィオラ 村上淳一郎
チェロ 辻本 玲

ベートーヴェン：弦楽三重奏曲 第1番 変ホ長調 op.3
弦楽三重奏曲 第4番 ハ短調 op.9-3



4/3[土]　浜離宮朝日ホール 音楽ホール
東京春祭のBeethoven
郷古 廉（ヴァイオリン）、村上淳一郎（ヴィオラ）、辻本 玲（チェロ）Ⅱ
弦楽三重奏曲 全曲演奏会

ピアノ 郷古 廉
ヴィオラ 村上淳一郎
チェロ 辻本 玲

ベートーヴェン：弦楽三重奏曲 第2番 ト長調 op.9-1
弦楽三重奏曲 第3番 ニ長調 op.9-2
セレナーデ ニ長調 op.8



4/5[月]　浜離宮朝日ホール 音楽ホール
クインテット樹

クインテット樹
フルート 清水 伶
オーボエ 浅原由香
クラリネット 亀居優斗
ファゴット 長田和樹
ホルン 信末碩才

リゲティ：6つのバガテル
ツェムリンスキー：ユーモレスク
坂田直樹：ラ・ヴァルス・リミックス
ヒンデミット：小室内音楽 op.24-2
ファルカシュ：17世紀の古いハンガリーの舞曲
ライヒャ：木管五重奏曲 変ホ長調 op.88-2



4/6[火]　浜離宮朝日ホール 音楽ホール
お昼のハルサイ
角野未来（ピアノ）――エリーゼのために

ピアノ 角野未来

ベートーヴェン：バガテル イ短調《エリーゼのために》
／他



4/7[水]　浜離宮朝日ホール 音楽ホール
東京春祭ディスカヴァリー・シリーズ vol.13
ジェルジ・リゲティ

ピアノ/お話 川﨑翔子　／他

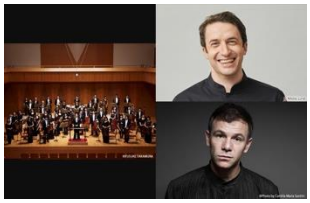
リゲティ：
　《5つの小品》より、ヴァイオリンとピアノのための二重奏曲
　無伴奏チェロ・ソナタ、《ムジカ・リチェルカータ》より
　コンティヌウム、ハンガリアン・ロック
ドビュッシー：《12の練習曲集》より
ショパン：《12の練習曲集》op.25 より
リゲティ：《ピアノのための練習曲》より、《3つの小品》　／他



4/9[金]　浜離宮朝日ホール 音楽ホール
ベルリン・フィルのメンバーによる室内楽

ヴァイオリン ノア・ベンディックス＝バルグリー
ヴィオラ アミハイ・グロス
チェロ オラフ・マニンガー
ピアノ オハッド・ベン＝アリ

モーツァルト：ピアノ四重奏曲 第2番 変ホ長調 K.493
マルティヌー：ピアノ四重奏曲 第1番 H.287
ブラームス：ピアノ四重奏曲 第3番 ハ短調 op.60



4/10[土]　浜離宮朝日ホール 音楽ホール
トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア
ノア・ベンディックス＝バルグリー（ヴァイオリン）、アミハイ・グロス（ヴィオラ）を迎えて

管弦楽 トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア
ヴァイオリン ノア・ベンディックス＝バルグリー
ヴィオラ アミハイ・グロス

ブリテン：シンプル・シンフォニー op.4
チャイコフスキー：弦楽セレナード ハ長調 op.48
モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 変ホ長調 K.364
（ヴァイオリン：ノア・ベンディックス＝バルグリー、ヴィオラ：アミハイ・グロス）



4/11[日]　浜離宮朝日ホール 音楽ホール
ノア・ベンディックス＝バルグリー（ヴァイオリン）

ヴァイオリン ノア・ベンディックス＝バルグリー
ピアノ オハッド・ベン＝アリ



4/12[月]　浜離宮朝日ホール 音楽ホール
東京春祭 歌曲シリーズ
ベンヤミン・アップル（**バリトン**）

バリトン ベンヤミン・アップル
ピアノ 調整中



4/13[火]　浜離宮朝日ホール 音楽ホール
東京春祭 歌曲シリーズ
マクシミリアン・シュミット（**テノール**）

テノール マクシミリアン・シュミット
ピアノ ゲロルト・フーバー

シューベルト：《冬の旅》D911



4/14[水]　浜離宮朝日ホール 音楽ホール
ブランデンブルク協奏曲 全曲演奏会

ヴァイオリン 長原幸太、佐久間聡一、猶井悠樹
ヴィオラ 鈴木康浩、大島 亮
チェロ 上森祥平、市 寛也、矢部優典
コントラバス 瀬 泰幸
フルート フリスト・ドブリノヴ
オーボエ 神農広樹、広田智之
ファゴット 長 哲也
ホルン 福川伸陽、信末碩才
トランペット 高橋 敦　／他

J.S.バッハ：ブランデンブルク協奏曲 第1番 ヘ長調 BWV1046
ブランデンブルク協奏曲 第2番 ヘ長調 BWV1047
ブランデンブルク協奏曲 第3番 ト長調 BWV1048
ブランデンブルク協奏曲 第4番 ト長調 BWV1049
ブランデンブルク協奏曲 第5番 ニ長調 BWV1050
ブランデンブルク協奏曲 第6番 変ロ長調 BWV1051

気鋭の若手、今聴くべき旬のアーティストが存分に味わえるTOPPAN公演



4/2[金]　TOPPAN ホール
お昼のハルサイ
上村文乃（チェロ）　――ピリオド楽器で聴くベートーヴェン

バロック・チェロ 上村文乃



4/5[月]　TOPPAN ホール
金川真弓（ヴァイオリン）＆山下愛陽（ギター）

ヴァイオリン 金川真弓
ギター 山下愛陽

藤家溪子：赤と黒
ロカテッリ：《ヴァイオリンの技法》op.3 より カプリッチョ 第10番
シューベルト（山下愛陽編）：ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ短調 D385
ヴィラ＝ロボス：前奏曲 第1番
クライスラー（山下愛陽編）：愛の喜び、愛の悲しみ
ピアソラ：《タンゴの歴史》



4/6[火]　TOPPAN ホール
N響メンバーによる室内楽

ヴァイオリン 大宮臨太郎、村尾隆人
ヴィオラ 坂口弦太郎
チェロ 山内俊輔
ピアノ松田華音

ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲 第15番 変ホ短調 op.144
ピアノ五重奏曲 ト短調 op.57　／他



4/8[木]　TOPPAN ホール
東京春祭のBeethoven
ピアノ協奏曲 全曲演奏会（室内楽版）I

ベートーヴェン（V.ラハナー編）：
ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 op.15
ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 op.19
ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 op.37



4/9[金]　TOPPAN ホール
東京春祭のBeethoven
ピアノ協奏曲 全曲演奏会（室内楽版）II

ピアノ 北村朋幹、小林海都　／他

ベートーヴェン（V.ラハナー編）：
ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 op.58
ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73《皇帝》



4/10[土]　TOPPAN ホール
ラファエル・フイヤートル（ギター）

東京春祭ならではのプログラムが光る旧奏楽堂　上野公園の桜と共に



3/26[金]　旧東京音楽学校奏楽堂
カニササレアヤコ（笙）

笙 カニササレアヤコ
箏 鹿野竜靖
ハープ ソフィー・シュタイナー

J.S.バッハ：G線上のアリア
ドビュッシー：月の光　／他



4/3[土]　旧東京音楽学校奏楽堂
ザ・プラーター・クインテット

ザ・プラーター・クインテット
ヴァイオリン 白井 圭
コントラバス 稲川永示
クラリネット 中 ヒデヒト
クラリネット 春田 傑
アコーディオン 大田智美

J.シュトラウス2世：喜歌劇《こうもり》序曲
ポルカ《ハンガリー万歳》op. 332
ジーツィンスキー：ウィーン、わが夢の街　／他



4/10[土]　旧東京音楽学校奏楽堂
砂川涼子（ソプラノ）

ソプラノ砂川涼子
ピアノ藤原藍子

團 伊玖磨：歌劇《夕鶴》より
「あたしの大事な与ひょう」
「さよなら」
三木 稔：歌劇《静と義経》より「賤のおだまき」
中田喜直：《マチネ・ポエティクによる四つの歌曲》より　／他



4/17[土]　旧東京音楽学校奏楽堂
東京春祭のBeethoven
加藤洋之（ピアノ）**＆ 津田裕也**（ピアノ）

ピアノ 加藤洋之、津田裕也

ベートーヴェン：
4手のためのピアノ・ソナタ ニ長調 op.6
4手のための3つの行進曲 op.45
ベートーヴェン（ウルリッヒ編）：交響曲 第2番 ニ長調 op.36　／他

非日常の空間で音楽×アートのマリアージュを愉しむミュージアム・コンサート



3/23[火]　東京国立博物館 法隆寺宝物館エントランスホール
ミュージアム・コンサート
東博でバッハ vol.82 岡本拓也（ギター）

ギター 岡本拓也

J.S.バッハ（岡本拓也編）：
オルガン・ソナタ 第4番 BWV528 より 第2楽章
リュート組曲 第4番 ホ長調 BWV1006a
前奏曲、フーガとアレグロ 変ホ長調 BWV998　／他



3/31[水]　東京国立博物館 法隆寺宝物館エントランスホール
ミュージアム・コンサート
東博でバッハ vol.83 カスパー・フランツ（ピアノ）**＆兼重稔宏**（ピアノ）

ピアノ カスパー・フランツ、兼重稔宏

バッハ（ザイドルホーファー編）：《フーガの技法》BWV1080



4/7[水]　東京国立博物館 平成館ラウンジ
ミュージアム・コンサート
東博でバッハ vol.84 北村 陽（チェロ）

チェロ 北村 陽



4/12[月]　東京国立博物館 法隆寺宝物館エントランスホール
ミュージアム・コンサート
東博でバッハ vol.85

出演者 調整中



4/15[木]　東京国立博物館 平成館ラウンジ
ミュージアム・コンサート
東博でバッハ vol.86 小川響子（ヴァイオリン）

ヴァイオリン 小川響子

ビーバー：《ロザリオのソナタ》より 第16番 パッサカリア ト短調
J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第1番 ト短調 BWV1001 より 第1楽章
細川俊夫：無伴奏ヴァイオリンのための悲歌
J.S.バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番 ニ短調 BWV1004
無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第3番 ハ長調 BWV1005



3/24[水]　国立科学博物館 地球館地下2階常設展示室
ミュージアム・コンサート
久保法之（カウンターテナー）

カウンターテナー 久保法之　／他



3/25[木]　国立科学博物館 地球館地下2階常設展示室
ミュージアム・コンサート
吉野直子（**ハープ**）

ハープ 吉野直子

踊りと自然をめぐる響きの中で
ヘンデル（ベオン編）：パッサカリア
J.S.バッハ：フランス組曲 第3番 ロ短調 BWV814
ハチャトゥリアン：《ハープのための2つの小品》
サルツェード：
　水の戯れ
　つむじ風
M.トゥルニエ：森の中の泉のほとりにて　／他



4/6[火]　国立科学博物館 日本館２階講堂
ミュージアム・コンサート
小川栞奈（**ソプラノ**）**＆斎藤優貴**（**ギター**）

ソプラノ 小川栞奈
ギター 斎藤優貴



4/13[火]　国立科学博物館 日本館２階講堂
ミュージアム・コンサート
竹内鴻史郎（**ヴァイオリン**）**&笠井大暉**（**ヴィオラ**）

ヴァイオリン 竹内鴻史郎
ヴィオラ 笠井大暉

イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ短調 op.27-2　／他



4/14[水]　国立科学博物館 日本館２階講堂
ミュージアム・コンサート
村治奏一（**ギター**）

ギター村治奏一

モリコーネ（鈴木大介編）：ニュー・シネマ・パラダイス
ロジャース（閑喜弦介編）：私のお気に入り
ショパン（ローリンド・アルメイダ編）：夜想曲 第2番 変ホ長調 op.9-2　／他



3/21[日・祝]　東京都美術館 講堂
ミュージアム・コンサート
「オルセー美術館所蔵　いまを生きる歓び」展 記念コンサート vol.1
笹沼 樹（**チェロ**）

チェロ 笹沼 樹
ピアノ上田晴子

フォーレ：エレジー ハ短調 op.24、《3つの歌》op.7 より 第1曲 夢のあとに
サン＝サーンス：
　組曲《動物の謝肉祭》より 第13曲 白鳥
　アレグロ・アパッシオナート ロ短調 op.43
ドビュッシー：チェロ・ソナタ ニ短調　／他



3/22[月・休]　東京都美術館 講堂
ミュージアム・コンサート
「オルセー美術館所蔵　いまを生きる歓び」展 記念コンサート vol.2
駒井ゆり子（**ソプラノ**）

ソプラノ 駒井ゆり子
ピアノ岩撫智子

ドビュッシー：星の夜
シャミナード：愛する人よ
ケクラン：もし君が望むなら
セヴラック：終わりなき夜の歌
マスネ：歌劇《マノン》より
　「私が女王様のように街を歩くと～絶えず恋をし人生を楽しみましょう！」
　／他



3/24[水]　東京都美術館 講堂
ミュージアム・コンサート
「オルセー美術館所蔵　いまを生きる歓び」展 記念コンサート vol.3
上野耕平（**サクソフォン**）

サクソフォン 上野耕平
ピアノ 高橋優介

ビゼー：《アルルの女》第2組曲より 間奏曲
ケクラン：《3つの小品》op.34　／他



3/25[木]　東京都美術館 講堂
ミュージアム・コンサート
「オルセー美術館所蔵　いまを生きる歓び」展 記念コンサート vol.4
広瀬悦子（**ピアノ**）

ピアノ 広瀬悦子

ウェーバー（リスト編）：舞踏への勧誘 op.65
ドリーブ（ドホナーニ編）：ナイラ・ワルツ
ドリーブ：《歓楽の王》より パスピエ
ドリーブ（ドホナーニ編）：バレエ音楽《コッペリア》より ワルツ
ドビュッシー：《前奏曲集 第1集》より
　　デルフィの舞姫たち、亜麻色の髪の乙女
　　喜びの島
ショパン（バックハウス編）：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 op.11 より 第2楽章
グリーグ（ギンズブルグ編）：《ペール・ギュント》第1組曲 op.46



4/15[木]　東京都美術館 講堂
ミュージアム・コンサート
「デュフィ展」プレ・コンサート
梶川真歩（**フルート**）**&山宮るり子**（**ハープ**）

フルート 梶川真歩
ハープ 山宮るり子

イベール：2つの間奏曲　／他



3/23[火]　上野の森美術館 展示室
ミュージアム・コンサート
田原綾子（ヴィオラ）～現代美術と音楽が出会うとき

ヴィオラ 田原綾子
ヴァイオリン 毛利文香

日本古謡（森 円花編）：さくらさくら 無伴奏ヴィオラのための
ヒンデミット：無伴奏ヴィオラ・ソナタ op.25-1
アンツォレッティ：無伴奏ヴィオラのためのカプリス 第11番 より アリア
實川 風：龍神喜雨 ヴァイオリンとヴィオラのための
ヘンデル（ハルヴォルセン編）：ヴァイオリンとヴィオラのためのパッサカリア
ノックス：フーガ・リブレ
西村 朗：無伴奏ヴィオラ・ソナタ 第2番《C線のマントラ》
マルティヌー：
　ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 第1番 H.313《3つのマドリガル》



3/27[土]　上野の森美術館 展示室
ミュージアム・コンサート
大石将紀（サクソフォン）～現代美術と音楽が出会うとき

サクソフォン 大石将紀、鈴木広志

ミンチェク：KARATE
杉山洋一：禁じられた煙（湾岸通りバラード）　　／他

子どもたちがクラシック音楽と出会う場　東京春祭 for Kids



3/27[土]、28[日]、30[火]、4/3[土]、4[日]
三井住友銀行 東館　ライジング・スクエア1階　アース・ガーデン
東京春祭 for Kids
子どものためのワーグナー《タンホイザー》
（バイロイト音楽祭提携公演）

指揮 石坂 宏
ヘルマン 後藤春馬
タンホイザー 片寄純也
ヴォルフラム 青山 貴
ヴァルター 石井基幾
ビーテロルフ 湯浅貴斗
エリーザベト 田崎尚美
ヴェーヌス 土屋優子
管弦楽 東京春祭オーケストラ
監修／芸術監督 カタリーナ・ワーグナー

ワーグナー：歌劇《タンホイザー》（抜粋）
※全編日本語での上演です。

■TICKET■
11月15日[日]より
順次発売開始！
詳しくは公式サイトを
ご覧ください

公演詳細は決定次第
◀公式サイト（www.tokyo-harusai.com）にて順次発表

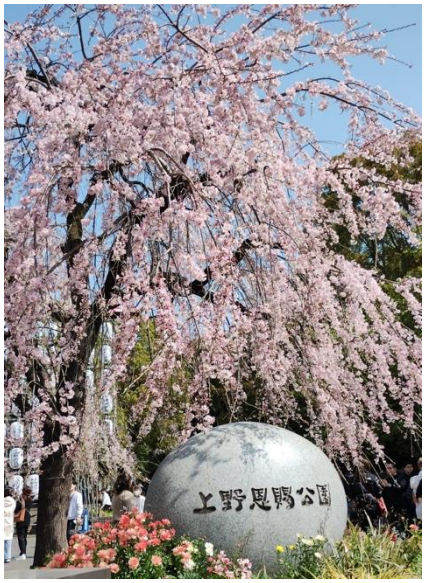
【公演に関する注意事項】
やむを得ぬ事情により出演者や曲目等が変更になる場合がございます。
予めご了承ください。

東京・春・音楽祭2027 主なアーティストプロフィールはこちらから▶
https://www.tokyo-harusai.com/files/profile/SpringFestivalinTokyo2027_ArtistProfile.pdf

東京・春・音楽祭2027　上野恩賜公園内会場

上野恩賜公園

1873（明治6）に日本で初めての公園として開園。江戸時代は東叡山寛永寺の境内地でしたが、1924（大正13）年に東京市に下賜されました。2023年には開園150周年を迎え、日本が誇る文化の集積地として日々多くの来園者が足を運んでいます。東京・春・音楽祭は2005年の開催初年からその拠点を上野公園一帯とし、公園内の様々なホールや美術館・博物館等で公演を重ねています。



旧東京音楽学校奏楽堂

東京藝術大学音楽学部の前身、東京音楽学校の校舎として、1890（明治23）年に建造され、日本における音楽教育の中心的な役割を担ってきました。2階の日本最古の洋式音楽ホールは、かつて瀧廉太郎、山田耕筰、三浦環らが活躍をした由緒ある舞台です。1983（昭和58）年に台東区が譲り受け、移築後、一般公開を開始、1988（昭和63）年には重要文化財の指定を受けています。

東京都美術館

1926（大正15）年、東京都美術館は日本初の公立美術館として開館し、2026年に開館100周年を迎えました。国内外の名品を楽しめる特別展や企画展、公募展など、多くの展覧会を開催するほか、アート・コミュニケーション事業など、「アートへの入口」としてさまざまな事業を展開し、「心のゆたかさの拠り所」となる美術館を目指しています。

東京国立博物館

1872（明治5）年創立、日本で最も長い歴史を持つ博物館として日本を中心に広く東洋諸地域の文化財を収集・保管・展示しています。所蔵品の数は12万件を超え、本館、東洋館、平成館、 法隆寺宝物館、表慶館、黒田記念館の6つの展示館があります。季節や年中行事に合わせた催し、教育普及事業なども行っており、多岐にわたる事業を通して世界中の人々に愛されています。



国立西洋美術館

1959（昭和34）年6月、フランス政府から寄贈返還された松方コレクションを基に、ル・コルビュジエの設計により開館。中世末期から20世紀半ばまでの作品による常設展に加え、企画展も充実の国立美術館。2016（平成28）年７月、国立西洋美術館を含む「ル・コルビュジエの建築作品－近代建築運動への顕著な貢献－」が、世界遺産に登録された。

国立科学博物館

1877（明治10）年創立、日本最大級の総合科学博物館です。常設展示では「人類と自然の共存をめざして」をメインメッセージとし、恐竜の化石や大型動物の剥製など自然史の標本や、日本の科学技術に関する資料などを幅広く展示しています。日本館は国指定重要文化財であり、ネオルネサンス様式を基調とした重厚な建物や、柔らかい光が差し込むステンドグラスも見どころです。

上野の森美術館

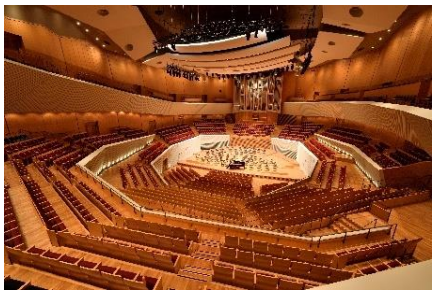
上野公園内にある私立の美術館で、日本美術協会の美術展示館を整備し、1972（昭和47）年に開館しました。以来、所蔵品の公開のほか東京・春・音楽祭のミュージアム・コンサートでもおなじみの「VOCA展」をはじめ、話題となる展覧会を開催しています。

東京･春･音楽祭2027　都内近郊公演会場



東京芸術劇場 コンサートホール 池袋

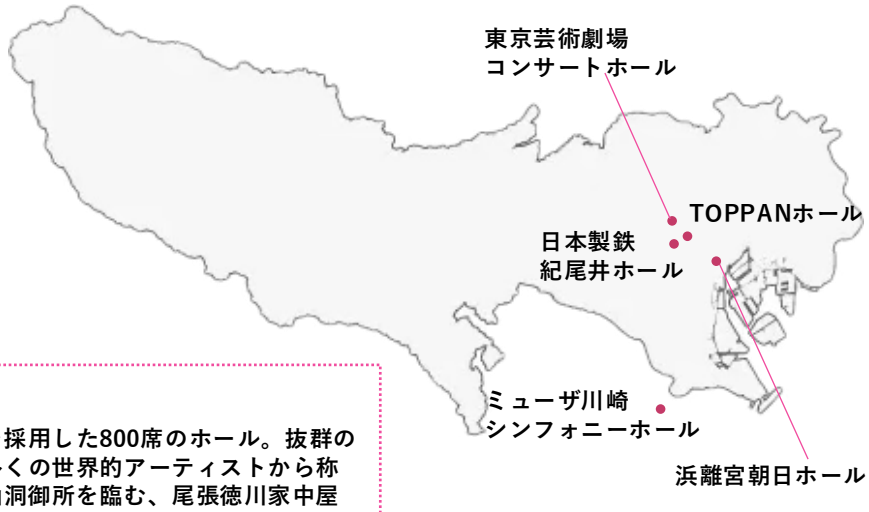
世界最大級で、唯一の回転式パイプオルガンを有するクラシック専用のコンサートホール、演劇・舞踊等の公演を行う３つのシアターを備え、新たな文化の創造・発信を行う複合的な芸術文化施設です。2026（令和8）年4月より芸術監督が二人体制となり、音楽部門芸術監督に指揮者の山田和樹が、舞台芸術部門芸術監督に演劇作家・小説家の岡田利規が就任。



ミューザ川崎シンフォニーホール 川崎

スパイラル構造の客席がステージを360度取り囲むヴィンヤード形式のコンサートホール。臨場感ある親密な空間が、聴衆とより一層の一体感を生み出しています。クラシック音楽を中心とした、アコースティックな演奏に最適な音響空間は、世界的な音楽家たちからも高い評価を得ています。。





日本製鉄紀尾井ホール 四谷

欧州の伝統的スタイル・シューボックス型を採用した800席のホール。抜群の音響と品格を兼ね備え、国内はもちろん数多くの世界的アーティストから称賛されています。眼下に迎賓館赤坂離宮、仙洞御所を臨む、尾張徳川家中屋敷跡に立地。音響のすばらしさに加え、歴史・文化の香りと、緑豊かな自然に囲まれた、洗練された豊かな空間です。



浜離宮朝日ホール 音楽ホール 築地市場

『How They Sound ～CONCERT & OPERA HALLS ～』において「Excellent」の評価を受けた、客席数552席のシューボックス型室内楽専用ホール。開業当時の最高水準の技術を結集して設計・施工され、1992（平成4）年の開館以来、弱音の繊細な表現までも鮮やかに伝える優れた音響空間として、国内外の演奏家や多くの聴衆を魅了し続けています。



TOPPANホール 江戸川橋

凸版印刷株式会社（当時）の創業100周年事業として社会文化貢献活動の一翼を担う目的で設立され、2000（平成12）年10月に開館。世界的にも稀有な“響きすぎない”クリアな音響が国内外の名だたる音楽家から賞賛を集め、408席の空間は室内楽に最適な響きと木のぬくもりに満ちた親密感を有しています。

東京のオペラの森（「東京・春・音楽祭」の前身／2005年～2008年）

東京の春の訪れを、新演出のオペラの制作・上演を中心に、「音楽」と共に祝おうと、2005年より毎春、約1ヵ月に亘り開催。音楽監督・小澤征爾氏を中心に、ウィーン国立歌劇場、国立パリ・オペラ座、フィレンツェ歌劇場などとの、新演出のオペラ共同制作・東京でのワールド・プルミエ公演を核とし、毎回、その年のオペラ作品の作曲家をテーマに、オーケストラ公演、室内楽公演なども行ってきた。また2回目の2006年より、上野公園内の文化施設でもコンサートなど多数行い、上野公園を訪れる多くの方にも親しまれた。



2005年公演



2006年公演



2007年公演



2008年公演

東京・春・音楽祭（2009年～）

2005年から開始した「東京のオペラの森」を前身として、第5回目の2009年より「東京･春･音楽祭 －東京のオペラの森－」として新たな幕開けをした音楽祭。東京文化会館での「ワーグナー･シリーズ」や、オーケストラ公演、国内外で活躍しているアーティストによる公演をはじめ、上野公園内の美術館、博物館を会場とした「ミュージアム･コンサート」など、様々なコンサートを行っている。今後も、東京－上野に根ざした、多彩な形の音楽祭を追求し、展開していく。



2009年公演



2010年公演



2011年公演



2012年公演



2013年公演



2014年公演



2015年公演



2016年公演



2017年公演



2018年公演



2019年公演



2020年公演



2021年公演



2022年公演



2023年公演
（3月18日～4月16日）



2024年公演
（3月15日～4月21日）



2025年公演
（3月14日～4月20日）



2026年公演
（3月13日～4月19日）